



この度は「黒肤光学園野球部のエロ活動記録」を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
少しでも楽しんでいただけたら、幸いです。

2014/10/27 ストレンジャー



HP <http://syota.buzama.com/>
MAIL pessary@live.jp

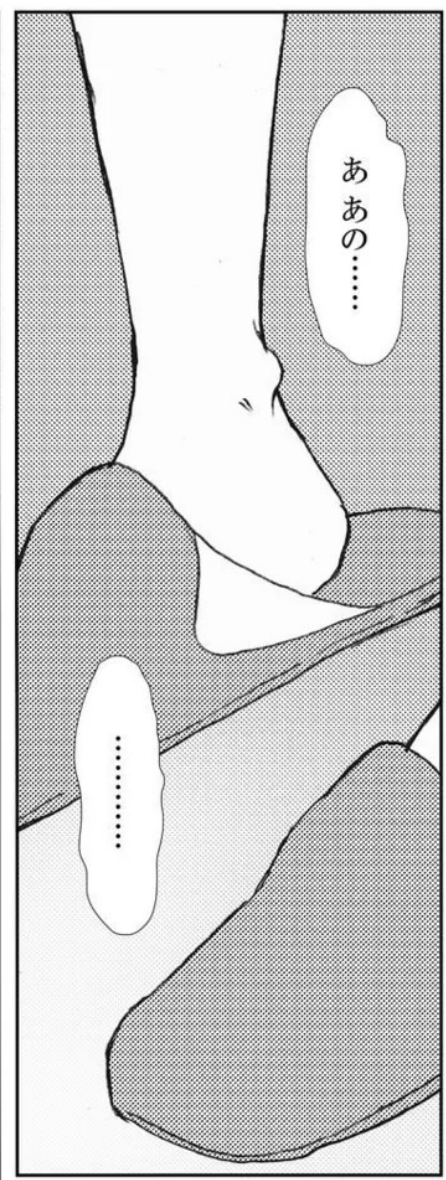
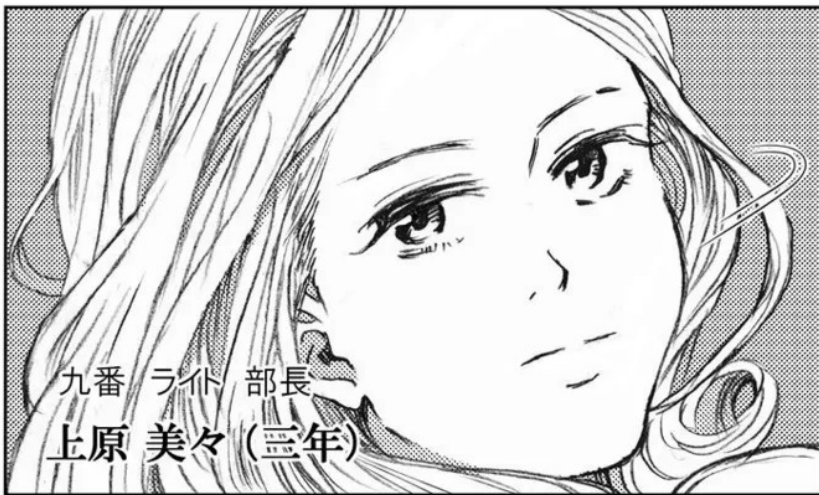
*本作品は成人向けの作品です。18歳未満の方の閲覧、購入を禁じています。
この作品はフィクションです。実在する人物、団体とは一切関係はございません。

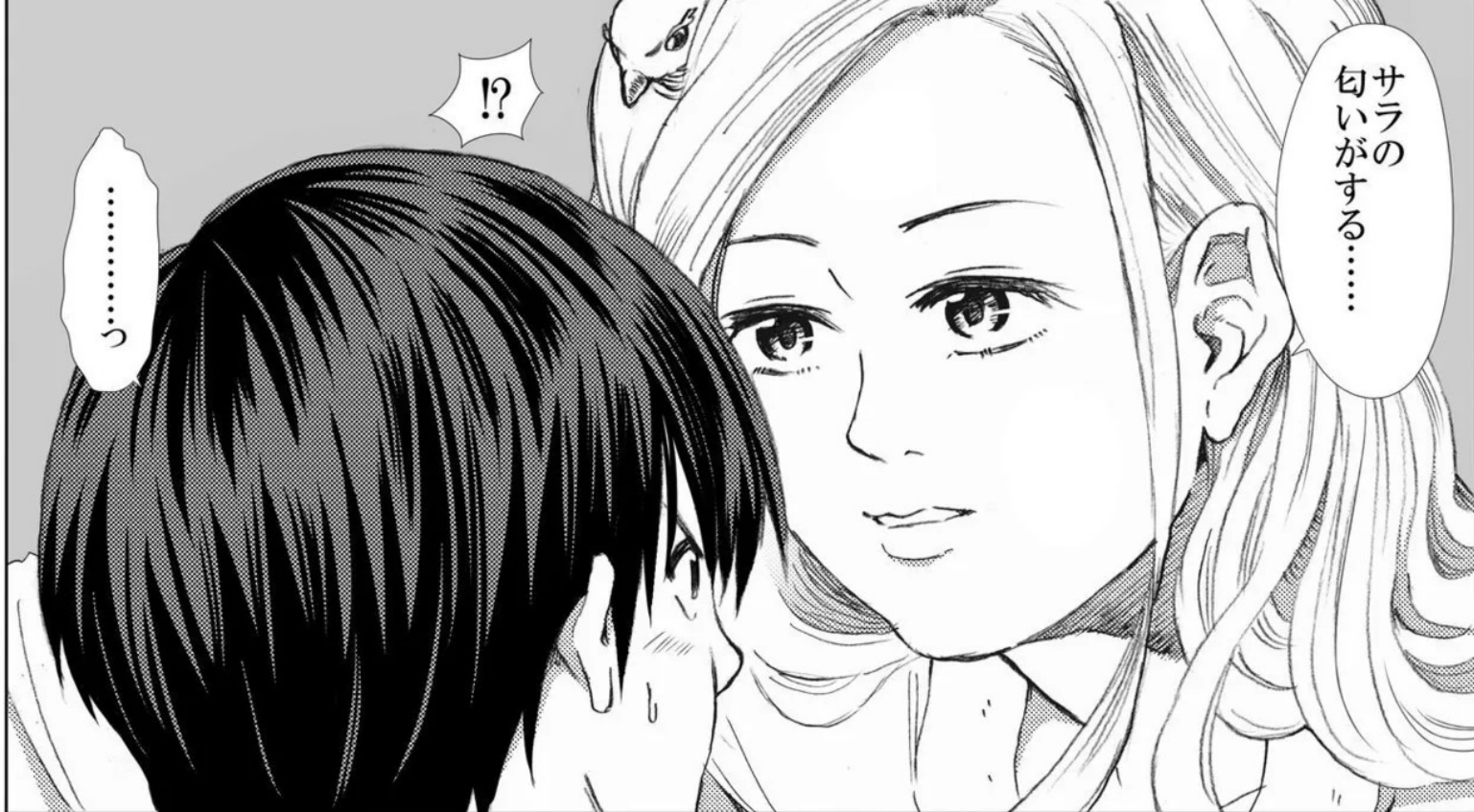


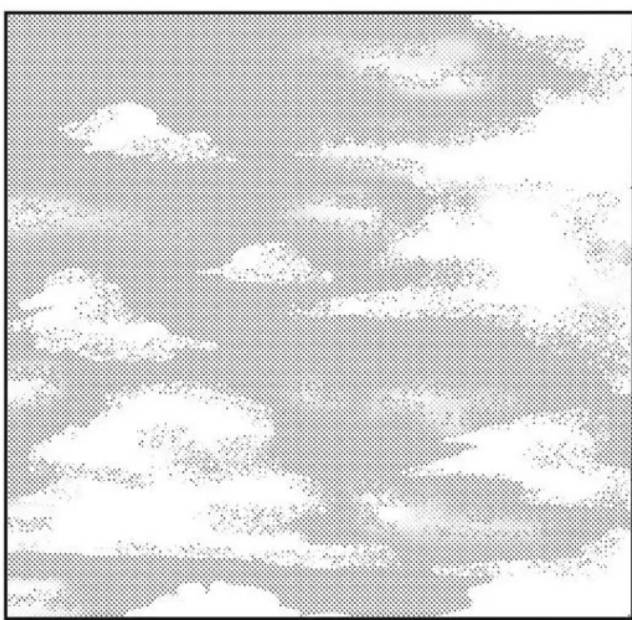
——さようなら 童心。

季節は春――









二番 キャッチャー 主将
阿部 新太郎 (三年)

お前たち
入部希望ってことで
いいんだな？



まず名前と
野球歴
ポジションを
教えてもらおうか



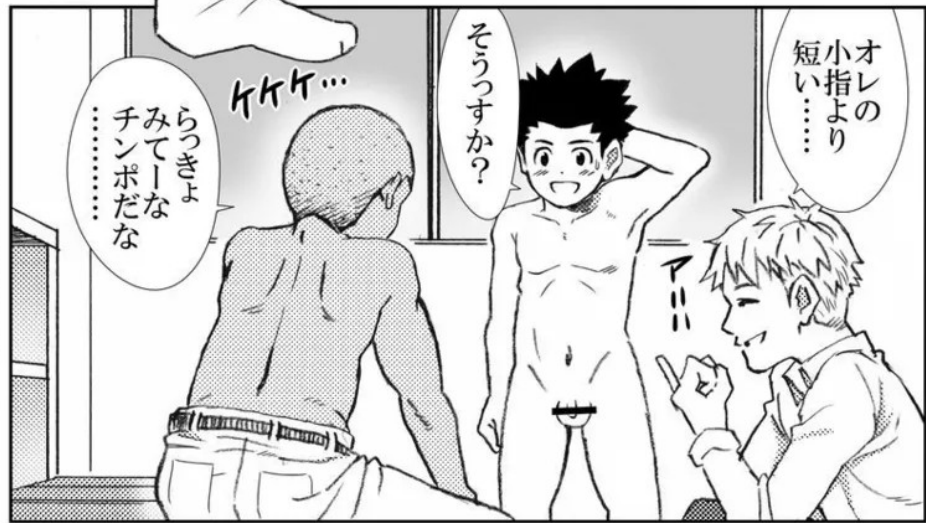
宮本 真治
四年前からピッチャー

高橋 良明です
センター守ってました
野球は二年前から
やっています……

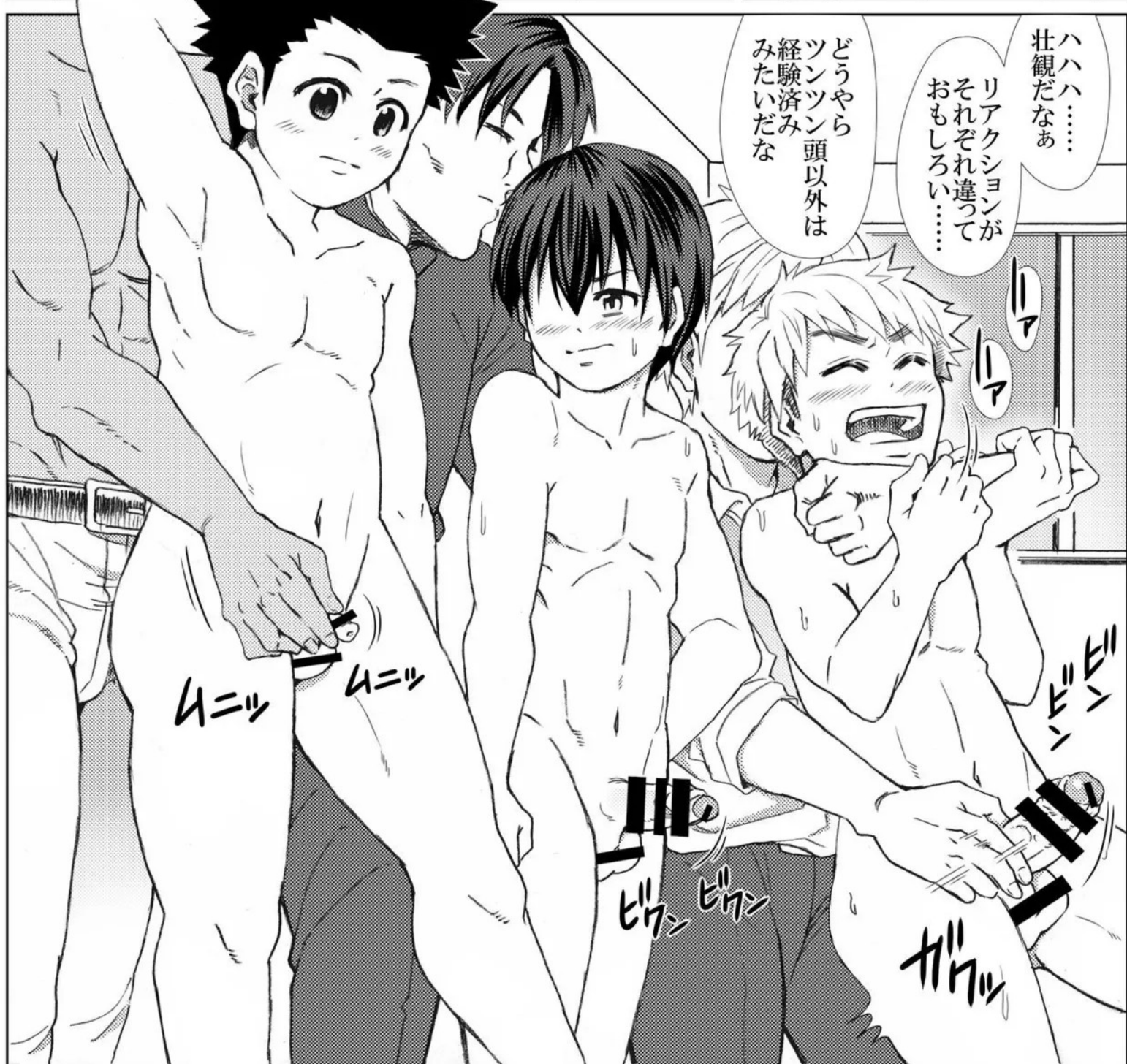














……あんま授業
聞いてなかったから

能天気な
ヤローだな……

コレを
使え



なんだよ
勃起もしねえ
じゃねえーかよ

……え?



……なにを
出せばいいんすか?
シヨンベン?

だったら
さっき出した
ばっかで……

ちげーよバカ!!
精子だよ精子!!
保健体育で習ったろ!?



自分でチンポ
シゴいたこと
ないのか?



よかつたなあお前
初オナでビビ先輩んこの
高級オナホを使えるなんて
ちよー贅沢だぜ?

……?



ウチの新作だ

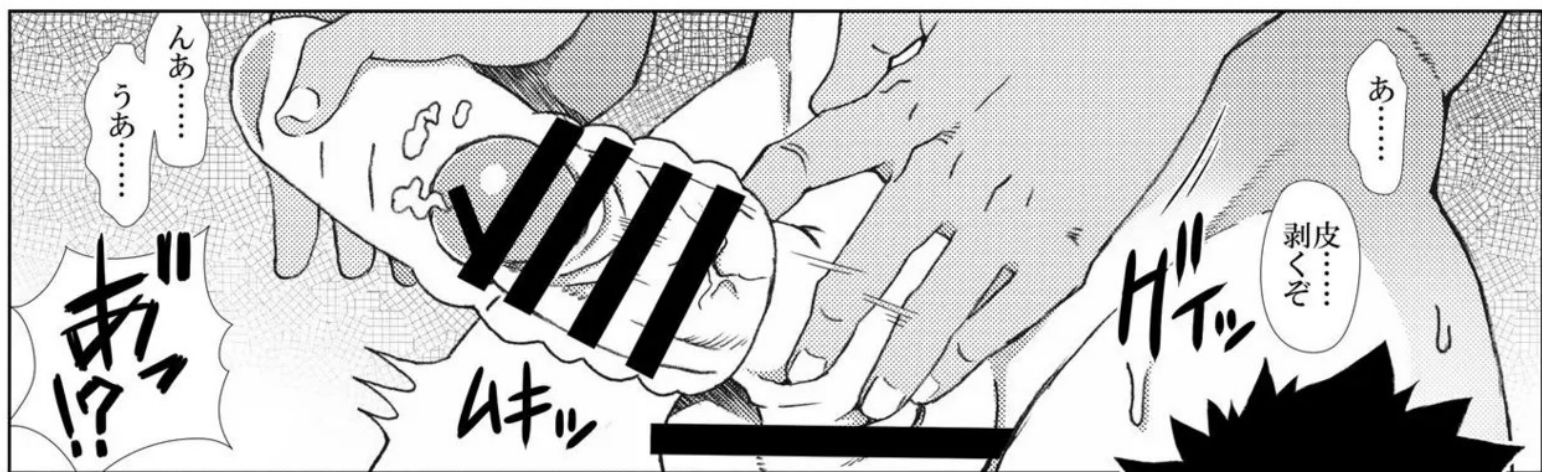
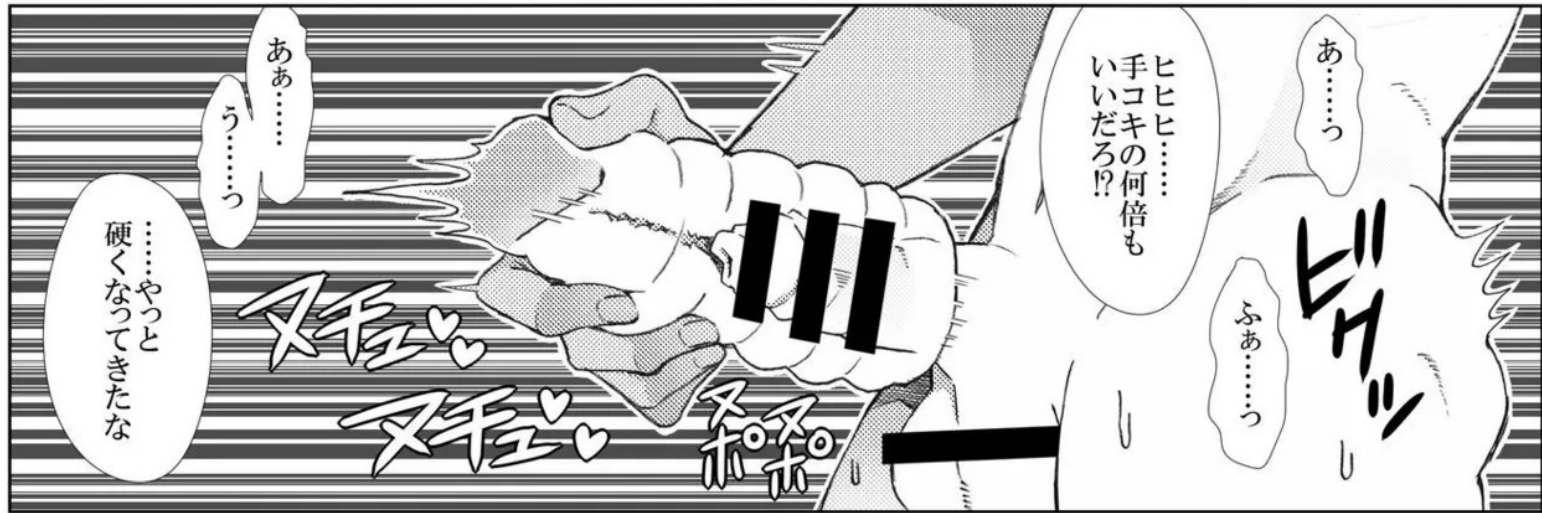
おお……
あざーっす
先輩っ!!



ウチの部長は
世界的に有名な
アダルトグッズメーカーの
御曹司さまなんだよ……

え……?

ケケケ……
クソが飛び出るほど
気持ちいいぜ?











ああ……

ジュジュジュ

う……っ

ダメ……
ダメです

サッサッ
ジュジュ

ジュ

ジュ

ジュ

ジュ

ジュ

ジュ

イ……
イキますっ

んん
っ

ふああああ
あああつ!!!

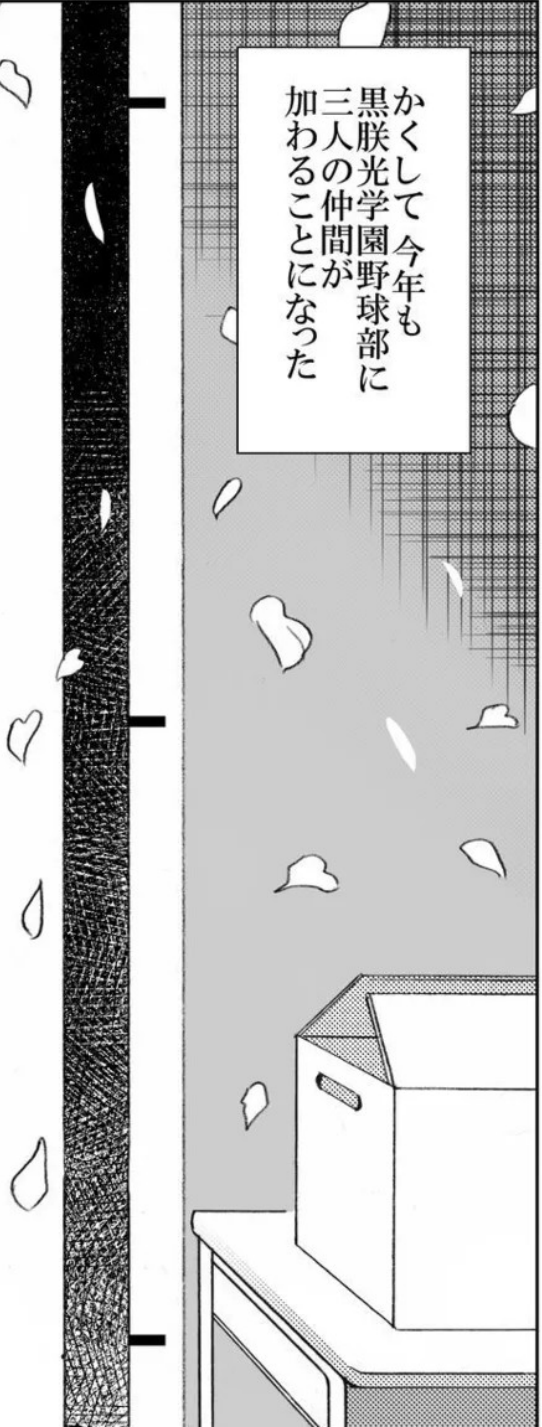
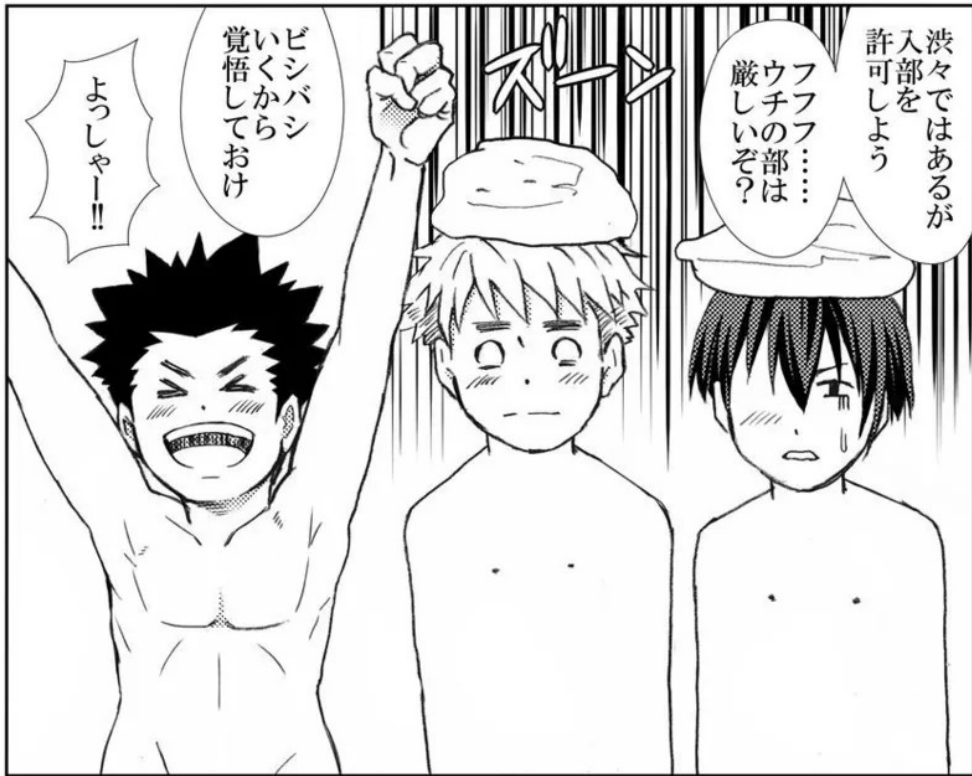
うああああ
あああつ!!

ドビュ

ジュ
ジュ
ジュ!!!

ドビュ





よっしゃー!!

ピシバシ
いくから
覚悟しておけ

ズーン

フフフ……
ウチの部は
厳しいぞ?

渋々ではあるが
入部を
許可しよう

ホントはすごく
嬉しいはずだよ

……そういうことだ
一年生諸君

かくして今年も
黒鉄光学園野球部に
三人の仲間が
加わることになった

オレ
ドラフト一位にも
なりたい!!

意味わかって
ねえーだろ
お前っ!!

The Fly



黒鉄光学園野球部
伝統の入部テストを
晴れて通過した
新入部員たち――

しかし彼らには
まだ乗り越えなくては
ならない
試練が残されていた

よお一年
初練習は
どうだった？

はあ……
キツかった
です

ハハハ

もう根を
上げてんのか？
だらしねーなあ

……
すみません

まだお前らの
仕事は
残ってるんだぜ？

練習終わりの
先輩の身体を
マッサージするのが
一年の役目
だからな

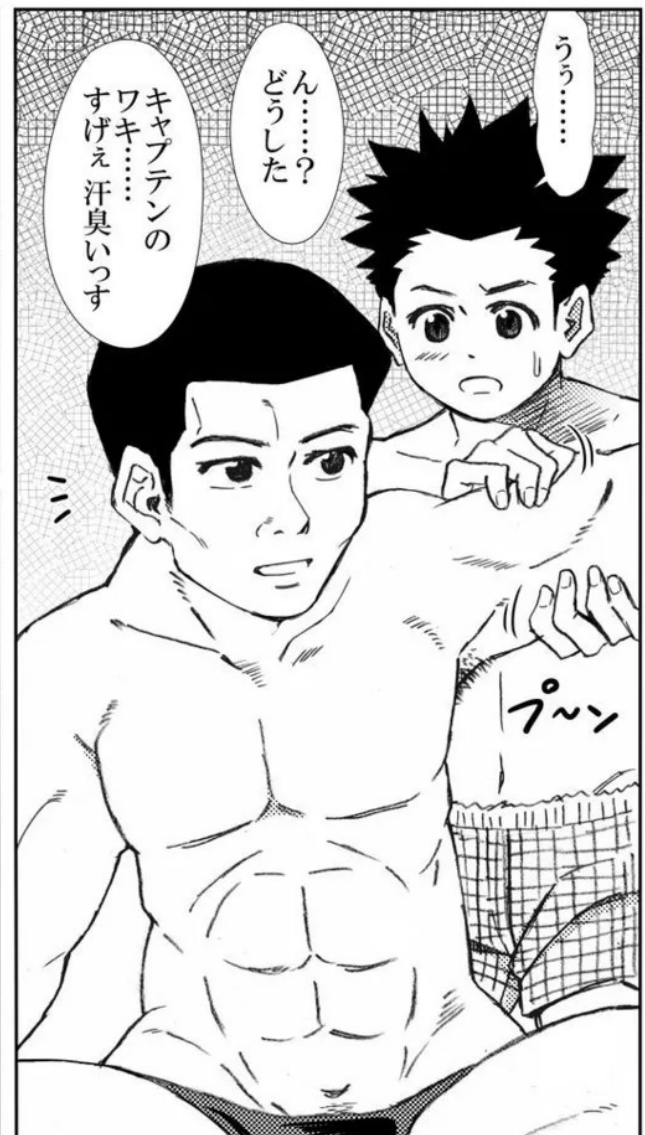
え……？

ん……？
そういえばジローと
あのムツリ一年坊主は
どこ行ったんだ？

自主練って
言っていましたよ

ほう……
あそこは
もうカップル成立か

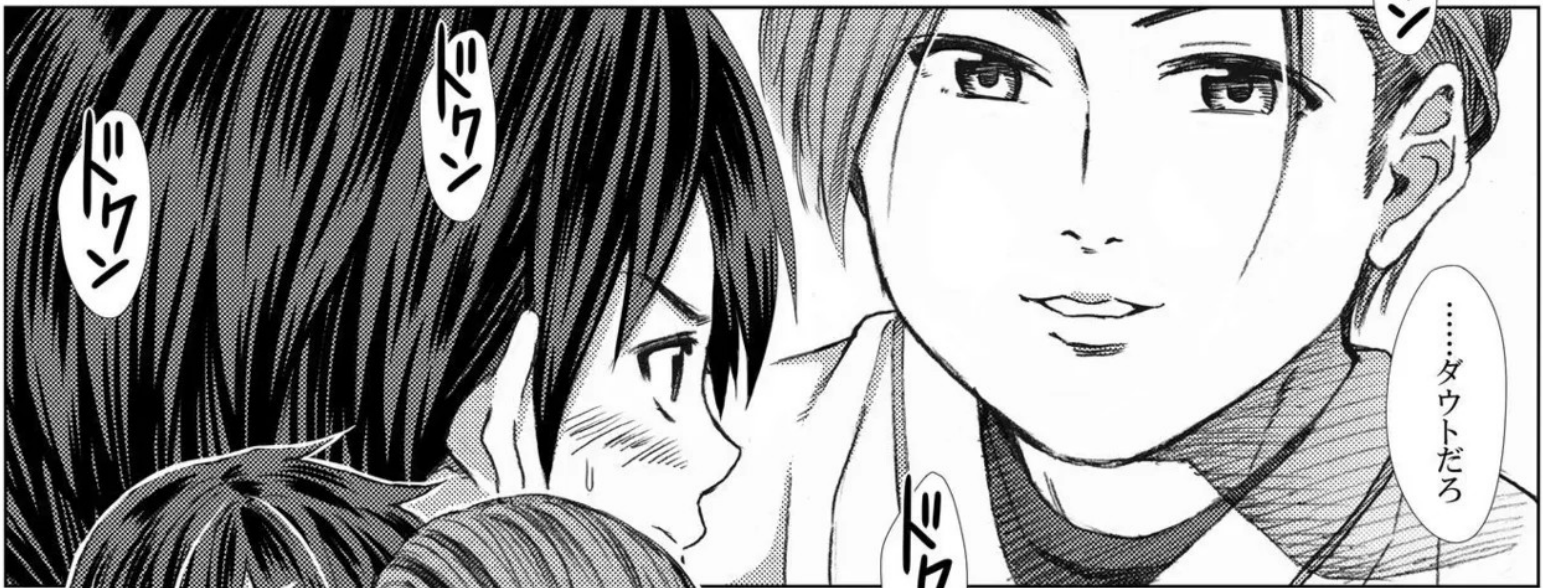












ああ……

イクツ!!

んんっ

!?

ビィチャ!!

うおおおお
おおおつ!!

ドッパッ

!?

ドッパッ

ビュル
ルッ

マッサージと
称された
性処理は
夜遅くまで続き――

新入部員たちは
汗と精液に
まみれながら
先輩たちの体を
癒すのだった

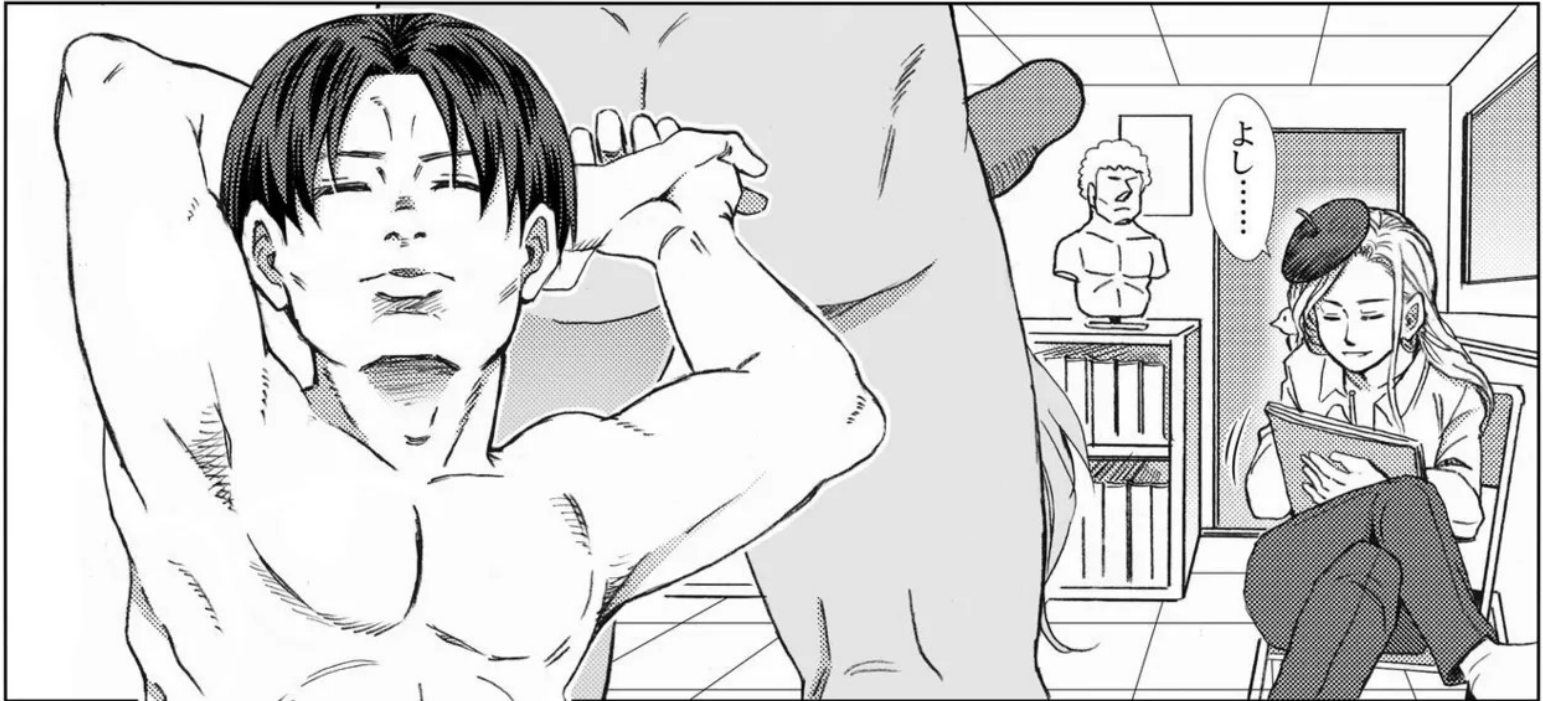
……よし
今みたいな感じで
もう一発
頼む

な……っ

もう一回?

ドロッ





The Tengoo



先輩たちの
手厚い洗礼を受けた
新入部員の少年たちは
その後も
めげることなく――

……失礼します

ハードな練習に
食らいつきながら
部に馴染んでいくのだった

ズッ

ミッチー先輩は
乳首を
責められるのが
好きなんすよね？

チームのマスコットとして
みんなから愛される
長嶋は
性感マッサージの
才能が開花――

廉先輩
またチンカス
溜めてますねえ
……

練習で疲れた
チームメイトの体を
優しく時に
刺激的に癒していた

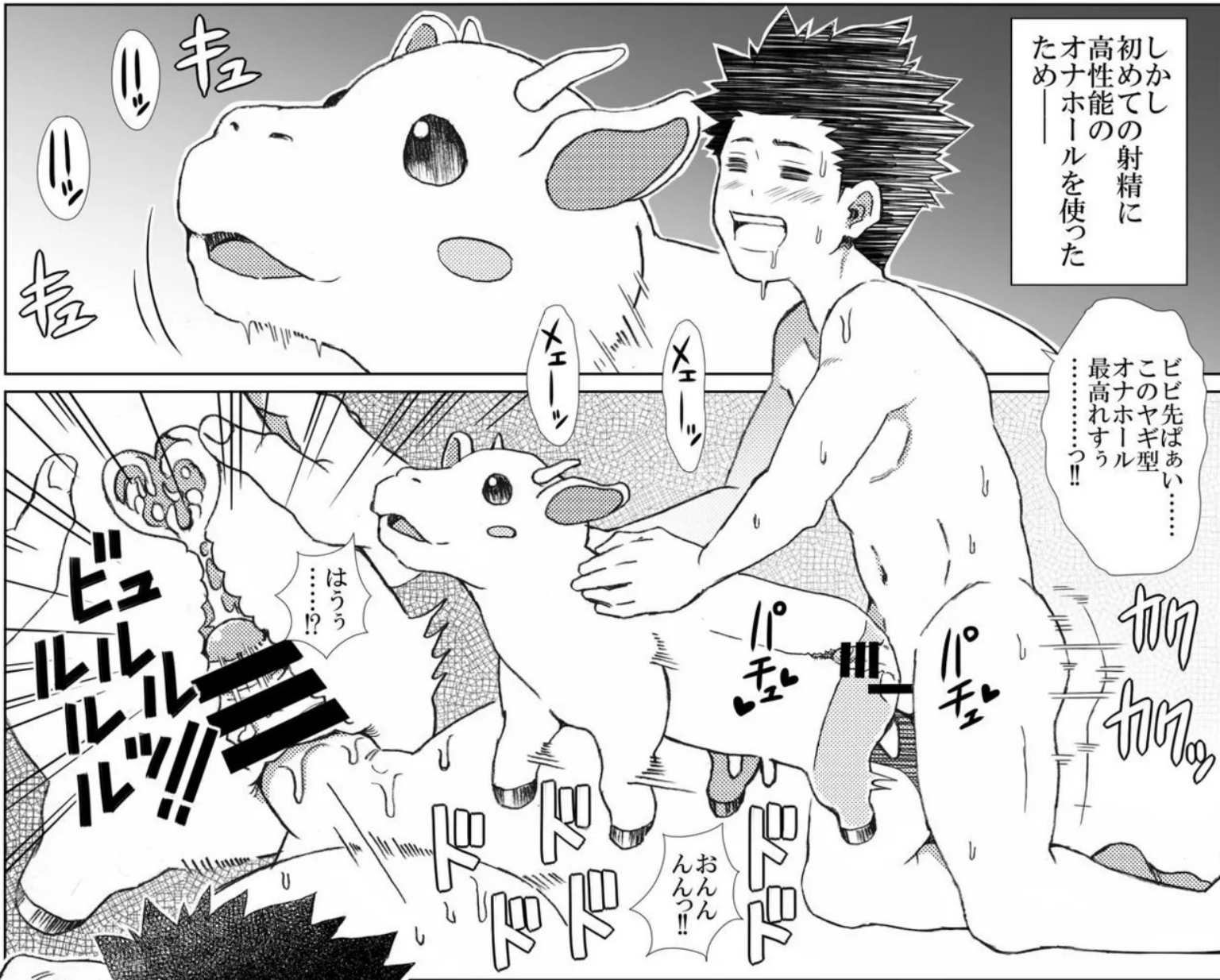
うわあ……

大量つすね

ドロッ

しかし
初めての射精に
高性能の
オナホールを使った
ため

ビビ先ばあい……
このヤギ型
オナホール
最高れすう
……っ!!



皮肉にも
自分自身は
オナホールでしか
射精できない体にな
つてしまった





我が道を行く
宮本は鈴木との
逢瀬を重ね
ボーイズラブ街道を
ひた走っていた

ん……

オレの……
しゃぶれよ

ん……

モソ

モソ

したかった
んだろ？

……

フ……
睨むなって

……っ

千
70



その日宮本は
越えてはならない
一線を鈴木と共に
越えてしまった

……初めて
だからつて

優しく
されると
思うなよ



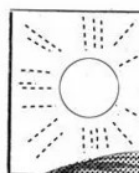
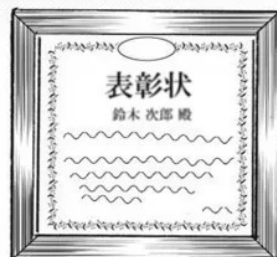
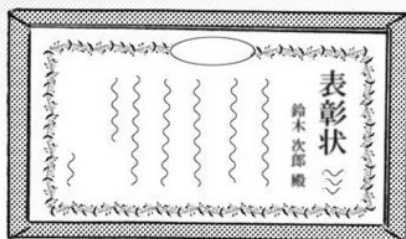
いんげん?

う……う

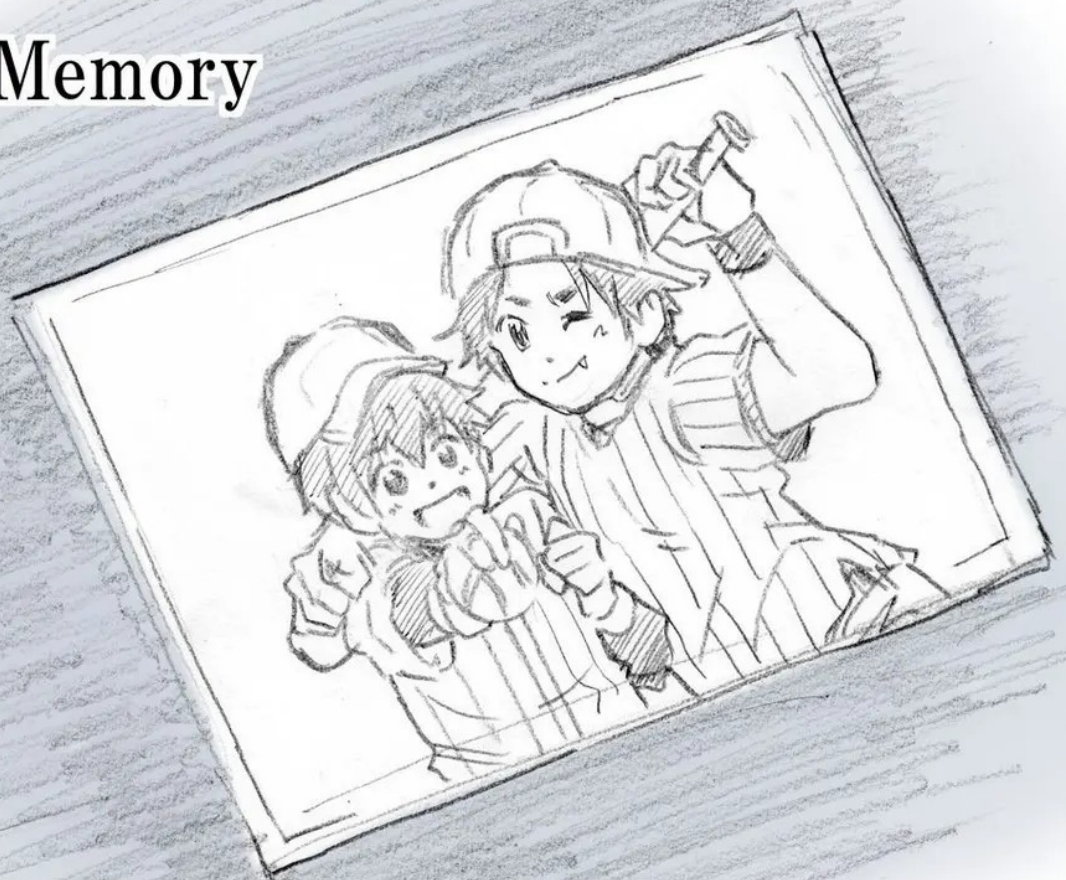
ああああ
あああつ!!!

やがて
季節は夏へ――

少年たちが
大人の階段を
駆け足で上がる季節が
すぐそこまで
迫っていた



The Memory







ああ……

う……っ

ダメ……
ダメです

イ……
イキますっ

んん
……っ

ふああああ
あああつ!!!

うああああ
あああつ!!





